第2回 学習のスキル

学習活動とは

大学での授業の取り組み方を通じて、大学での学習活動について考えてみましょう。

- 高校までの授業と大学での授業の違い
- 高校までの「勉強」と大学での「学び」の違い

基礎的知識

- 大学での学習（授業のスタイル、授業外学習、自主学習）
- ノートの活用（なぜノートをとるのか）
- 資料の活用（資料の種類や特徴の違い）
- 大学でのレポートの目的（正解があるとは限らない）
- 事実と意見の区別（事実を自分の主張に置き換えない）

学習スキル（スタディ・スキル）

- ノートの取り方（ノートテイキング）
- テキストの読み方（クリティカル・リーティング：批判的読解）
- 文献や資料の検索（図書館やデータベースの利用）
- 要約のしかた（パラグラフ、キーワードやキーセンテンス）
- 考えのまとめ方（事実と意見の区別、発想の展開）
- レポートの書き方（全体の構成、文献の引用）
- 発表のしかた（発表資料の作り方、口頭発表）

発想を“見える化”して広げる

発想を広げたり、考えを整理したり、系統だてて考えるときに使うことができる、発想方法を利用してみましょう。

マインドマップ

色やイラストを取り入れながら、頭の中のイメージを紙の上に表現する思考技術に、「**マインドマップ**」があります。

マインドマップのポイントは、1つのテーマについて連想して思い浮かんだことを、短い言葉や絵でそのまま紙に書きだして、枝が放射状に伸びていくように、次々と広げていくことです。

いくつかのマインドマップを描いてみて、特定のテーマについて発想を広げたり整理してみましょう。

1. 多色ペン（色鉛筆やボールペンも可）と横長の大きめの紙（A4サイズ以上）を用意する。
2. 紙の真ん中に、テーマを代表するようなイメージやキーワードを描く。色は3色以上使う。
3. 真ん中のイメージから太い枝を伸ばすように何本か描く。それぞれの枝には真ん中のイメージから連想されるキーワードやイメージを1つ描く
4. 伸ばした太い枝の先から、さらに枝を何本か伸ばす。元の枝のイメージに関連するキーワードやイメージを自由に描く。枝の先から新たな枝をつなげて伸ばしながら、木の枝のようにのように広げていく。伸ばすたびに枝はだんだん細くなる。
5. 離れた枝にあるイメージがお互いに関連があるようなら、線でつないだり、ひとまとまりの枝を枠（雲型）で囲む。

参考文献

- トニー・ブザン，バリー・ブザン著，神田昌典訳「ザ・マインドマップ」，ダイアモンド社 (2005.11).
- 森時彦，ファシリテーターの道具研究会「ファシリテーターの道具箱」，ダイアモンド社 (2008.03).
- 石井力重「アイデア・スイッチ」，日本実業出版社 (2009.07).

ノートテイキング（ノートの作り方）

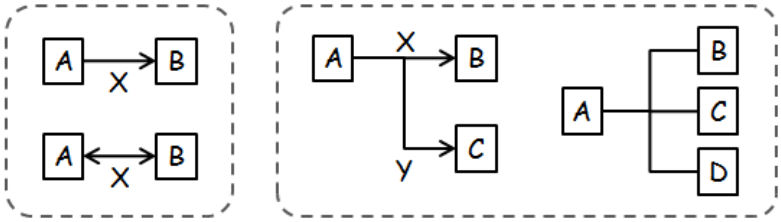
【ポイント】ノートを活用するには？

- 授業内容を再現できるように：板書をそのまま写すのではなくポイントを押さえる
- キーワードや要点を逃さない：一言一句書き取っていては聞き逃す
- 授業内容を立体的にとらえる：記号や矢印、イラストなどをうまく使う
- 余白を多くつくって活用する：追加情報を記入する場所をあらかじめ用意しておく

> 積極的にノートを活用するには、**定期的に読み返す**ことが重要です。ただし、試験前などに清書するのは二度手間です。しばらくして読み返してときに授業を思い出せる程度に**丁寧に書く**のがおススメです。

図解の活用

ノートを作るときには、文字で書くことだけが重要ではありません。物事の関係や考え方・情報の構造などを図で書いた**図解**があれば、視覚的に内容を理解・確認するのに役立ちます。



ノートをとるときに役立つ文房具

- 筆記用具
  - 蛍光ペン：キーワードを中心に、コピーしても写らない
  - ボールペン：速記に便利、3色ボールペン（色で重要度や情報の意味を使い分ける）
    - （例）赤…もっとも重要な箇所、青…まあ重要な箇所、緑…面白い・興味を抱いた箇所
    - （例）赤…重要な情報、青…疑問点（授業でわからないところ）、緑…そのほかの情報
- 付箋の活用
  - いろんな付箋：サイズ（大・中・小）、素材（紙、透明フィルム）
  - メモや情報の整理に：大きめの付箋に書く、あとで内容ごとにグループに整理する
- さまざまなフォーマットの市販ノート
  - 罫線に目盛りがあることで、字下げなど文字の配置がしやすい
  - 目盛りを使えば、フリーハンドでも図表やグラフの作成がしやすい
  - ページの分割がしやすい（例：コーレル大学式ノート）

参考文献

- 齋藤孝「三色ボールペン情報活用術」（角川oneテーマ21 B-43）, 角川書店 (2003.06).
- 田村仁人「アタマが良くなる合格ノート術」, ディスカヴァー・トゥエンティワン (2007.04).
- 堀公俊, 加藤彰「ファシリテーション・グラフィック」, 日本経済新聞社 (2006.09).
- 太田あや「東大合格生のノートはかならず美しい」, 文藝春秋 (2008.09).
- 永田豊志「頭がよくなる「図解思考」の技術」, 中経出版 (2009.11).

次回（4月23日）：資料の収集

- 2つのゼミで、図書館ツアーを実施（情報メディアセンターによる説明）
- 集合：5号館図書館前に 9:00 集合（その後、場所を移動します）